

## 1 単元名 「世界の諸地域 北アメリカ州」

### 2 単元について

#### (1) 生徒観

本学級は、男子17名、女子19名の36名である。学習に前向きに取り組もうとする生徒が多い。授業においては既習事項について前向きに発言する生徒が多い。一方で、新しい考えを表現する場面や答えが決まっていない問いについては自信を持って発表することに躊躇する生徒も多い。また、授業全体では発言者が偏りがちになり、自らの意見を述べることに消極的になってしまう傾向も見られる。それは、グループ学習のような小単位での学習活動でも同様である。また、グラフの読み取りや資料を活用して学習課題を深める場面では苦手とする生徒も多い。

本校社会科がめざす「社会の形成者としての資質・能力」を育成するためには、生徒が意欲的に学習活動に取り組むことが欠かせない。また、他者とのかかわりの中で、自ら考察したり、判断したりする態度が重要である。そのため本単元においては、生徒が興味・関心をもてるような教材を提示し、自分なりの考えが求められるような問いに対しても取り組んでみようとする意欲を高めさせたい。また、グループ学習のような小単位での学習活動を仕組み、全員が必ず発言しなければならないような課題を与え、自らの意見を述べることへの抵抗感を取り除き、仲間と話し合ったり、意見を交換し合ったりすることの楽しさや大切さを実感させたい。

本単元においては生徒が生活経験から得た知識やイメージを基に授業を通して北アメリカ州に対する知識とともに北アメリカ州に対する課題意識を持つことや地球的課題について関心を持ち、意見交換や発表等を通して深めていきたい。

#### (2) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領社会編の地理的分野(2)内容B世界の様々な地域(2)世界の諸地域④北アメリカを受けて設定している。ここでは、北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を把握できる事象や、特徴的に見られる地球的課題と関連付けて学習テーマを設けて追究させ、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題との関係性を捉えさせることをねらいとしている。

北アメリカ州は、北アメリカ大陸とカリブ海の島々からなる州であり、気候や生活・文化の面において、多種・多様な広がりが見られる。そこで本単元では、北アメリカ州の自然環境・文化・産業について概観させた上で、あらゆる面で州の中心を担うアメリカ合衆国を取り上げて、学習テーマを設定する。世界的にも影響が大きく、我が国とも繋がり深いアメリカ合衆国を取り上げることで、地域的特色や地球的課題を適切に捉えて表現する上での、理解や考察のしやすさの一助としたい。

具体的には、自然環境では北アメリカ州の広大な地形と多岐にわたる気候の変化について、その後に学習する農業とも関連付けながら学習を進める。文化ではアメリカの移民の歴史について、歴史的分野の内容に深入りしないよう配慮しつつも時代の流れに沿って学習し、多くの移民による多種多様な文化の形成と現在の課題について学習する。農業では適地適作と呼ばれる気候に即した農業の様子とともに、大規模で大量に生産される農作物、そしてその生産物の多くが海外に輸出される点、供給される生産物がメジャーと呼ばれる大企業を中心に行われている点を生徒たちは身近な事象を取り上げることで理解する。工業面でも同様に生徒が普段生活の中で触れるものや関心のある出来事を取り上げ、アメリカが大きく影響を与えている点に気づく。そして、アジア州の学習をふまえ、生産量では中国が非常に大きい点、企業としてはアメリカの企業が大きい点やインドのICT関連産業の学習も関連付けて他地域とのつながりを理解する。アメリカの生活様式や環境問題においても既習事項のファストフード店やアメリカに倣った都市型の生活の広がりについて触れ、その根底には大量生産・大量消費の消費

システムがあることについて理解し、現在の地球的課題である二酸化炭素の排出にもつながる事を理解する。

生徒たちはこれまで、この「世界の諸地域」において、アジアの学習を行ってきた。その中で、地形の構成や気候の特色、気候や歴史の変化による産業の変化、地球的課題などとともにアジアとしての課題について着目して学習内容を比較したり、関連付けたりする学習に取り組んできた。また、単元のまとめとして課題を設定した調べ学習や発表、今日的な課題に対する判断などもおこなってきた。本單元においても産業に留まらず、複合的な視野で事象を捉え、これまでの学習で身に付けた力を活用して、「北アメリカ州」の大観に取り組ませたい。

### (3) 指導観

学習指導要領 地理的分野 B (2)「世界の諸地域」においては、「次の①から⑥までの各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。ア 次のような知識を身に付けること。(ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。(イ) ①から⑥までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解すること。イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。(ア) ①から⑥までの世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。」ことが挙げられている。

本單元では、北アメリカ州を大観する学習を踏まえ、地理的な特徴やそれらを活用した人間の営みを概観させ、地域内の結び付きなどに着目して、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する学習活動を行う。また、本單元では、主にアメリカ合衆国を扱い、様々な統計資料を複合的に考察させ、導かれた振り返りが、単元を貫く問いである「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」につながるよう構成し、毎時間の学習を通して問いの解決に結びつけていきたい。そのようにすることで、各自の「北アメリカ州」観があきらかになったり、互いの地域観の違いが明確になったりして、生徒が「地域の大観」を行うことができると考える。その際、地域を構成する特色に着目させ、地形や気候、産業、人々の生活との因果関係があり、社会の形成に大きく関わったり、その地域的特色を象徴したりする事象が重視されていることに気づかせたい。そして、地域的特色をふまえた上で、地域の持つ地球的課題に触れ、課題解決の取り組みに結びつけたい。また、「多面的・多角的」に「北アメリカ州」を捉えさせるために、根拠を説明させる際には、どの側面に着目したのか(多面的)、どの立場から考えたのか(多角的)を明確にさせたい。そして、身に付けた知識を活用することや資料やグラフから読み取ったことをつなげることが苦手であるという生徒実態を踏まえて、複数の資料を提示し、それらをつなげて考察する活動を設定する。その中で出てきた仲間 の意見を自分の考えと関連付けて、思考を整理・統合し、グループの意見として発表させることで、意見を表出することへの苦手意識の克服につなげる。そして、授業では興味・関心をもたせるために、身近なものの写真などを導入で提示し、主体的な学びを促す。また、授業の目標を明確に示し、終末に目標に対するまとめを行う。また、学習の記録を工夫することにより、単元を貫く問いとの関連性を意識するとともに、毎時間個々が思考したことや気付いたことをキーワード等で書き込んでいくことを継続的に指導する。そうすることで、常に主体的な学びの形が作れ、受け身の授業になるが故の集中力の欠如を防ぎ、絶え間ない自己決定の場面を与えることに繋がると考える。さらに本時では、学習テーマに対して答える材料となる資料を、自ら選ばせることによって、テーマを自分のものとして捉え、自発的に考えようとする姿勢になるようにしたい。また、グループ協議では、ファシリテーターを中心に話し合いを進め、協議が滞っている場合は、より具体的な視点を与えたり、新たな問いを投げかけたりすることで、協議を活性化するように支援する。社会科の授業では4人での小グループ学習を基本とする。これは、生徒の自信の無さによる不安を軽減したり、自分の持っていない視点を補ったりする効果を狙ったものである。授業規律の徹底や、個人でじっくりと考える時間の確保が難しくなることとの兼ね合いがあるが、主体的な学びを維持するために、効果的にこの機能を利用していききたいと考える。本時では通常の小グループ学習に加えて、グループから出てき

た意見を参考により良いまとめに辿り着くよう指示を出し、視点を与える。こうすることで、互いの考えを肯定的に聞き、積極的に取り込みながら建設的な話し合いが必然的に行われるものと思われる。さらに、教師と生徒の間で行われる会話においても、生徒の発言やつぶやきが、教師を介して全体に共有されたり、肯定的に取り上げられたりすることで、有用なものとして扱われるように心掛けたい。

### 3 全体研究・教科研究との関わり

#### (1) 「主体的な学び」の姿

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）で示している社会科の目標及び育成を目指す資質・能力に本校生徒の実態や課題点を踏まえて、本校社会科では育成したい資質・能力を以下のように考えてきた。「よりよい社会の実現のために、新たな課題を見出したり、他者の考えも参考にしながら、自分に何ができるのかを判断していこうとしたりすることができる。」本単元においては「世界の諸地域」の学習を通して、その地域の特徴をとらえるとともに、その地域の抱える地球的課題について考えていく。その中で、他の生徒との意見交換や課題を深めることにより、自身の考えを深め、課題解決に向けて自分なりの意見を持つことを目指していく。

#### (2) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

教科研究ではこれまで取り組んできた「学習の記録」を活用して、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行っている。昨年度は、「学習の記録」に、「主体的な学び」のプロセスモデルにおける「振り返り」、「方略調整」、「全体の振り返り」について記述する枠を設定し、「振り返り」や「方略調整」については、教師がコメントを行ったり、生徒同士で記述内容を交流させたりして、生徒自身が「自らの学びを調整する」ことにつなげた。また、「全体の振り返り」については、昨年度は「単元での学びの質や成果を振り返っているか」、「次の単元での学びにつながるような振り返りをしているか」、「単元の学習に粘り強く取り組もうとしていたか」という点に着目して評価を試みた。本単元においても振り返りのワークシートを工夫し、相互に自己調整や評価ができるように目指していきたい。

#### 4 単元の目標

- ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。
- ・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解する。
- ・北アメリカ州において、地域で見られる持続可能な開発目標などの地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・北アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野に地域で見られる持続可能な開発目標などの地球的課題の要因や影響を主体的に追究しようとする態度を養う。

#### 5 単元の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</li><li>・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解している。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・北アメリカ州において、地域で見られる持続可能な開発目標などの地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・北アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野に地域で見られる持続可能な開発目標などの地球的課題の要因や影響を主体的に追究しようとしている。</li></ul> |

## 6 単元間のつながり

《大単元の学習内容と問い》「世界の諸地域」

| 地域（配当時間）<br>〈主題〉<br>主な事象<br>（鍵になる概念）   | ◎小単元を中心となる問い<br>☆獲得する知識   | 評価の観点 |   |   | 重点化，系統化により精選した評価規準<br>〈重点化〉<br>○評定につなげる評価<br>●学習改善につなげる評価<br>〈系統化〉<br>実線：技能<br>波線：思考<br>二重線：態度   | 主体的な学びのプロセスモデル   |
|--|---|-------|---|---|--|------------------|
|  |   | 知     | 思 | 態 |  |                  |
| 学習にあたって（1）   | 各州の特徴的なことがらをまとめてみよう   |       |   | ● | ● <u>世界の諸地域の学習に見通しを持って取り組んでいる。</u>   | 【目標設定】           |
| アジア州（8）<br>〈経済発展〉<br>世界の工場，経済特区，工業団地，ICT関連産業，大気汚染，経済格差，スラム<br>（経済成長の影響）  | ◎経済発展の著しいアジアにおける課題は何だろうか。<br><br>☆経済成長により人々の暮らしは便利になった。しかし，経済発展は都市部が中心となったため，農村部との間に経済格差を引き起こした。また，大気汚染等の環境問題やスラムの発生等の課題も生じている。                           | ○     |   | ● | ○経済成長が著しいアジア州の地域的特色を理解している。<br><br>● <u>教師によって提示された資料をもとに，そこから読み取った情報を適切に文章化している。</u>  | 【遂行】【振り返り】       |
| 北アメリカ州（8）<br>〈経済大国と世界との関わり〉<br>ネイティブアメリカン，ヒスパニック，適地適作，アグリビジネス，サンベルト，シリコンバレー，大量生産・大量消費，多国籍企業<br>（大規模な生産体制と世界へ波及する消費生活の影響） | ◎「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」<br>☆多くの移民によって国家が形成され，大規模農業や大量生産方式を導入した工業などで成長したアメリカは商品とともにその生活様式も世界に広がっていった。しかし，アメリカの生活様式は地球温暖化などの持続可能な社会を妨げる課題も発生させていた。 | ○     |   | ● | ○大規模な経済発展をしたアメリカの地域的特色を理解している。<br>● <u>単元の学習を通して，自らの目標達成のために努力し続けたことや工夫したことを振り返る。単元の学習の成果と課題を次の学習にどのように活かすか考える。そこから読み取った情報を適切に文章化している。</u> | 【遂行】【振り返り】【方略調整】 |

|   |   |   |   |  |               |
|---|---|---|---|--|---------------|
| <p>ヨーロッパ州（7）<br/>〈同一性と経済格差〉<br/>キリスト教，EU，ユーロ，多様な農業，食糧自給率，先端技術産業，経済格差<br/>（EUの広がりから生じる問題）</p>  | <p>◎「一つのヨーロッパ」という考え方はこれからも通用するのか。<br/><br/>☆地続きになっており，歴史的にも対立の続いたヨーロッパが経済的統合を目指し，EUを結成して統合を進めてきた。しかし，経済格差や国家間の問題から離脱する国も出てきている。</p>               | ○ | ● | <p>○EU統合が進んだヨーロッパ州の地域的特色を理解している。<br/><br/>●<u>教師によって提示された資料をもとに，そこから読み取った情報を適切に文章化している。</u></p>                                    | 【遂行】【振り返り】    |
| <p>アフリカ州（5）<br/>〈発展途上国の経済成長〉<br/>植民地，レアメタル，モノカルチャー経済，NGO<br/>（貧困と経済発展の課題）</p>                 | <p>◎アフリカの国々の発展を妨げるものは何だろうか。<br/>☆植民地としての歴史が残るアフリカはプランテーションによる作物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済の国々が多い。AUによる共同体の結成や工業化を進める国が現れる一方，人口増加や貧困，都市化などの問題が起こっている。</p> | ○ | ● | <p>○発展途上国多いアフリカの地域的特色を理解している。<br/><br/>●<u>教師によって提示された資料をもとに，そこから読み取った情報を適切に文章化している。</u></p>                                       | 【遂行】【振り返り】    |
| <p>オセアニア州（4）<br/>〈他地域とのつながり〉<br/>移民，白豪主義，多文化社会，APEC<br/>（多文化共生と相互依存）</p>                      | <p>◎他地域との交流を深めるために大切なことは何だろうか。<br/>☆島国の多いオセアニアでは原住民や移民による多文化共生が進められてきた。一方で近年では他地域とのつながりも増え，貿易に留まらず幅広い交流が進められている。</p>                              | ○ | ● | <p>○他地域とのつながりの深いオセアニア州の地域的特色を理解している。<br/><br/>●<u>教師によって提示された資料をもとに，そこから読み取った情報を適切に文章化している。</u></p>                                | 【遂行】【振り返り】    |
| <p>南アメリカ州（6）<br/>〈自然環境と経済発展〉<br/>熱帯林，焼畑農業，プランテーション，アグリビジネス，地球温暖化，バイオ燃料<br/>（開発と自然環境のバランス）</p> | <p>◎発展を目指した南アメリカ州にはどのような新しい課題が生まれたのだろうか。<br/>☆モノカルチャー経済から工業化を進めた南アメリカ諸国だが，都市化が進んだことによりスラムの形成や開発に伴う熱帯林の伐採など環境問題も課題となって</p>                         | ○ | ○ | <p>○EU統合が進んだヨーロッパ州の地域的特色を理解している。<br/><br/>○<u>単元の学習の成果と課題を次の学習にどのように活かすか考える。そこから読み取った情報を適切に文章化している。教師によって提示された資料をもとに，そこから読</u></p> | 【遂行】【全体の振り返り】 |

|  |     |  |  |  |                           |
|--|-----|--|--|--|---------------------------|
|  | いる。 |  |  |  | <u>み取った情報を適切に文章化している。</u> |
|--|-----|--|--|--|---------------------------|

7 単元の「指導と評価」計画（全8時間） ●…学習改善につなげる評価 ○…評定に用いる評価

| 時数 | 主な学習内容                     | 知 | 思 | 態 | 評価規準<br>(評価方法)   | 主体的な学びのプロセスモデル   |
|----|----------------------------|---|---|---|--|--|
| 1  | ○北アメリカ州とアメリカ合衆国の課題設定       |   |   | ● | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>話し合いの様子</li> </ul>   | <b>【目標設定・遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の目標に沿った自分なりの課題を立てる。</li> <li>アメリカに対して知っていることを共有し、既習事項の確認をする。</li> </ul>  |
| 2  | ○学習項目①「北アメリカ州の自然環境」        | ● |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> </ul>   | <b>【遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図を見ながら自然環境の特徴と災害について知る。</li> </ul>   |
| 3  | ○学習項目②「移民の歴史と多様な民族構成」      | ● |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> </ul>   | <b>【遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカの人種と移民の歴史や問題について調べる。</li> </ul>   |
| 4  | ○学習項目③「大規模な農業と多様な農産物」      | ● | 技 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> </ul>   | <b>【遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカの農業の特色と世界との関わりについて知る。</li> </ul>  |
| 5  | ○学習項目④「世界をリードする工業」         | ● |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> </ul>   | <b>【遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図を用いてアメリカの工業の変移と他国との関わりについて知る。</li> </ul>  |
| 6  | ○学習項目⑤「アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題」 |   | ● |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> <li>話し合いの様子</li> </ul>  | <b>【遂行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ人の生活からどのような地球的課題につながるか考える。</li> </ul>   |
| 7  | ○単元の目標の振り返りと再考             |   | ● |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> <li>発表の姿</li> <li>話し合いの様子</li> <li>話し合いをふまえた方略調整の姿</li> </ul> | <b>【振り返り】【方略調整】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間との交流を通して、「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」について振り返る。</li> <li>振り返りを活かし、単元を貫く問いの答えとしてふさわしいアメリカの影響について改めて考える。</li> </ul> |
| 8  | ○単元の振り返りと課題発見              |   |   | ● | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒によるワークシートへの記述</li> <li>発言の様子</li> <li>方略調整を通じた全体を振り返る様子</li> </ul>                              | <b>【全体の振り返り】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習の成果を活かし、単元を貫く問いの答えとしてふさわしいアメリカの影響について交流を通してまとめる。</li> <li>単元の学習を通して、自らの目標達成のた</li> </ul>                          |

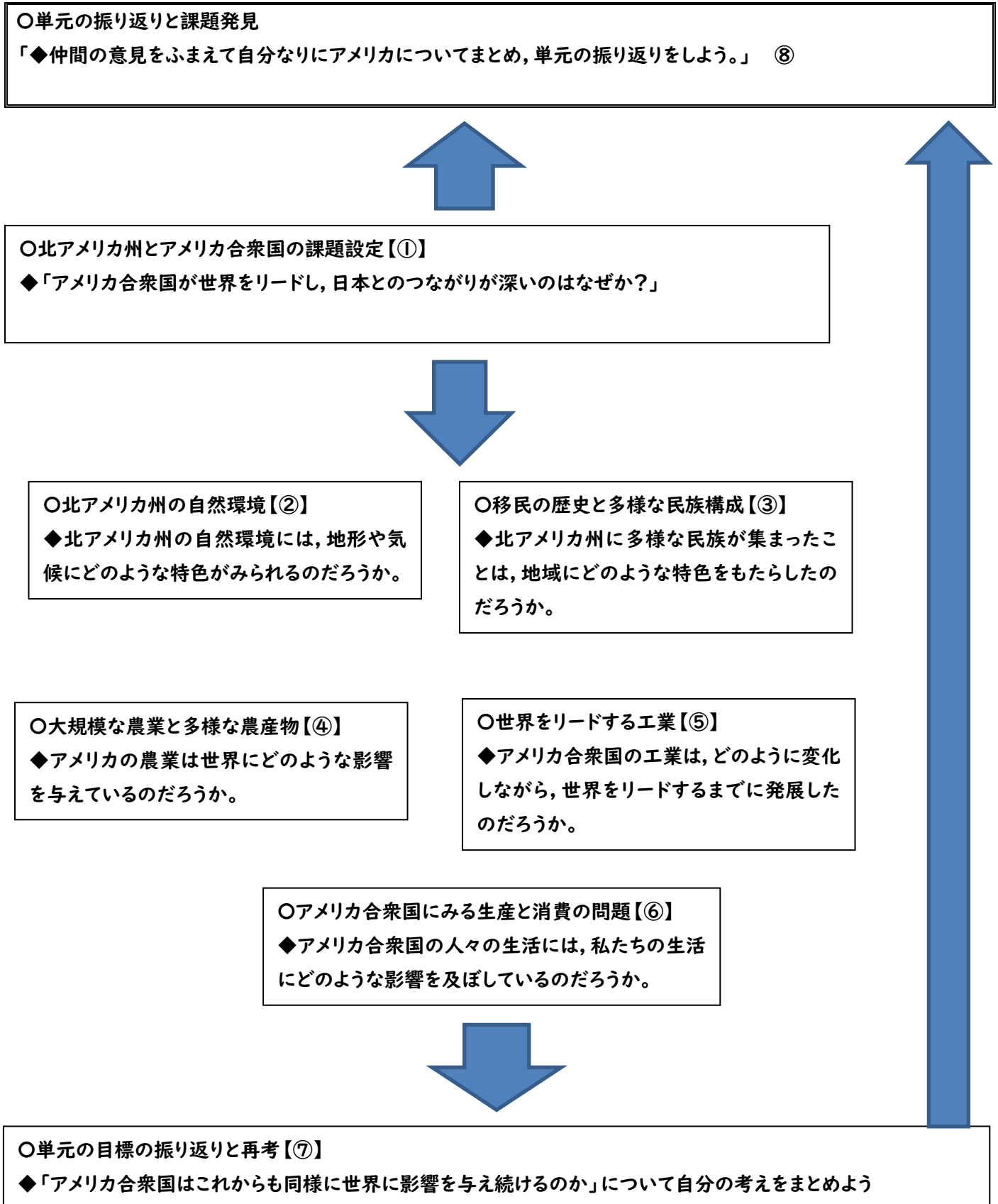
|  |  |  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|--|--|---|
|  |  |  |  |  |  | <p>めに努力し続けたことや工夫したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 単元の学習の成果と課題を次の学習にどのように活かすか考える。</li></ul> |
|--|--|--|--|--|--|---|



指導について【問いの展開図「世界の諸地域 北アメリカ州」】

単元の課題：北アメリカ州の代表国、アメリカ合衆国は世界最大の経済大国で、日本をはじめ世界各地に影響を及ぼしています。この単元の学習を通して皆さんには「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」について考えてほしいと思います。学習を進める中でその根拠を大切に学習を深めて下さい。

※丸数字は時数を表す



## 8 本時の授業

(1) 日 時 令和3年 11月 9日 (火) 10:50~11:40

(2) 場 所 山梨大学教育学部附属中学校 1年3組教室

(3) 題材名 世界の諸地域「北アメリカ州」

(4) 本時の指導目標

・学習活動を振り返り、北アメリカ州の課題について考え、根拠を持って説明することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

・仲間との交流を通して、自分の考えを振り返り、根拠をもって要因についてまとめることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

(5) 展 開

|  | ●学習内容 ・学習活動   | ・説明や指示, 支援   | 評価規準と評価方法 |
|--|---|--|-----------|
| 導<br>入<br>10<br>分  | ●前時までの学習活動と本時の学習活動の確認   | ・前時までに取り組んできた学習活動と本時で取り組む学習活動の内容を確認する。   |           |
| <p><b>○本時の主題:「意見交換を通してアメリカの今後について自分の考えをまとめよう」</b><br/> <b>単元を貫く問い「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」</b></p> |   |  |           |
|  | ●まとめの視点についての確認を行う<br>①根拠がはっきりしているか。<br>また具体性はあるか。<br>②授業で学習した内容が反映されているか。<br>③様々な視点が入っているか。<br>④自分の意見となっているか。 | ・本時はこれまで学習してきた内容をもとに自分なりにアメリカの活動を振り返り、今後の展望についてについて考えることを説明する。<br>・まとめの視点は対話形式で行い、ひつような部分は補足を行う。 |           |

|                                   |  |  |   |
|-----------------------------------|--|--|---|
| <p>展<br/>開<br/>①<br/>20<br/>分</p> | <p>●各自の意見を共有し、話し合いを通して考察を深める。【4人グループ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○考察を発表。(2分00秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターを中心に、発表を行う</li> <li>※①を4回繰り返す</li> </ul> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にまとめたものを発表させる。</li> <li>※左の流れを4回繰り返す。</li> <li>※発表の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①考えた要因について</li> <li>②考えた要因に決めた理由</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①自らの考えた立場を学習した点を生かしながら根拠を持って説明している。(活動の様子)</li> <li>②仲間の意見に傾聴している。(活動の様子)</li> </ul>       |
|                                   | <p>●各自の意見を共有した内容をもとに、話し合いを通してグループの考えを深める。【4人グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を共有して多いものをベースに決める。</li> <li>・ジャムボードに箇条書きでまとめる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループとしての考えをファシリテーター中心にまとめさせ、ジャムボードに簡潔にまとめさせる。</li> <li>・立場を明らかにし、箇条書きで決めた理由をまとめさせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>③仲間の意見に傾聴し、参考にしている。(活動の様子、ワークシート)</li> <li>④話し合いに参加しているか。前向きな話し合いになっているか。活動の様子)</li> </ul> |
|                                   | <p>●ジャムボードを活用した他グループの意見共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの意見を聞き、学びを深める。</li> <li>・補足がある場合に追加意見を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者が紹介する。</li> <li>・各グループに追加の意見や説明があれば求める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤仲間の意見に傾聴している。(活動の様子、ワークシート)</li> </ul>  |
| <p>展<br/>開<br/>②<br/>15<br/>分</p> | <p>●交流を踏まえて、自らの考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流から自分の学習の学習調整をおこなう</li> <li>①自分の選んだ立場に変更や方針転換はあるか</li> <li>②グループの学習から参考になったことはあったか</li> <li>③次回に向けて調べておくことや次回の学習で行うことは何か</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間支援を通してなかなか進まない生徒や困っている生徒に対してここまでの授業の様子やまとめの視点を確認させる。</li> <li>・まとめ方の参考になる生徒のものを留めておき共有をする。(ロイロノート)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥交流を通して考えたことを踏まえて、理由を記述している。(ワークシート)</li> </ul>  |
| <p>終<br/>末<br/>5<br/>分</p>        | <p>●振り返りと次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめシートに本時の学びの振り返りを行う。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦振り返りシートの記述の様子</li> </ul>  |

(6) 本時の評価

- ・アメリカについて、学習した内容を活用しながら理由を記述し、説明している。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・仲間との交流を通して、自分の考えを振り返り、根拠をもって要因についてまとめることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

| 「十分満足できる」状況 (A) があると判断される具体的な例  | 「おおむね満足できる」状況 (B) があると判断される具体的な例   | 「努力を要する」状況 (C) があると判断される生徒への支援  |
|---|--|---|
| 本時の目標について、北アメリカ州の単元を貫く問いに対して、学習した内容を活用し、既習事項をふまえて根拠を持ってまとめている。また、話し合い活動では積極的に関わり、グループの意見に対して根拠を持ってまとめようとしている。 | 本時の目標について、北アメリカ州の単元を貫く問いに対して、学習した内容を活用し、根拠を持ってまとめている。また、話し合い活動では意見を発表し、グループの意見をまとめようとしている。 | 本時の目標について、学習の視点をもとに自分の意見をまとめるために関連付けや言葉がけを行う。<br>話し合い活動では発表方法や他者の意見をふまえて考えることを指導する。 |

(7) 板書計画

- ・「本時の目標と活動の流れ」と「まとめの視点」、「ストップウォッチ」を掲示する。

|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <p>世界の諸地域「北アメリカ州」</p> <p>単元の課題：北アメリカ州の代表国、アメリカ合衆国は世界最大の経済大国で、日本をはじめ世界各地に影響を及ぼしています。この単元の学習を通して皆さんには「アメリカ合衆国はこれからも同様に世界に影響を与え続けるのか」について考えてほしいと思います。学習を進める中でその根拠を大切に学習を深めて下さい。</p> |                                       |
| <p>【あなたの仮説】( )</p> <p>・アメリカは同様に影響を、</p> <p>与え続ける ・ 与え続けない</p>  | <p>その理由</p>                           |
| <p>【授業を進めて考えたこと】( )</p> <p>・アメリカは同様に影響を、</p> <p>与え続ける ・ 与え続けない</p>   | <p>その理由</p>                           |
| <p>【最終的な結論】( )</p> <p>・アメリカは同様に影響を、</p> <p>与え続ける ・ 与え続けない</p>  | <p>その理由</p>                           |
| <p>○北アメリカ州の学習を通して考えたこと、次の単元の学習に生かしていきたいこと</p>  | <p>・考えたこと</p> <p>・次の単元に生かしていきたいこと</p> |

## 9 参考文献

- ・文部科学省（2018）『中学校学習指導要領解説 社会科編』東洋館出版社.
- ・国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会』  
東洋館出版社
- ・澤井陽介，唐木清志（2021）『小中社会科の授業づくり』東洋館出版社
- ・地理教育システムアプローチ研究会（2021）『システム思考で地理を学ぶ』古今書院
- ・クリスティアン・モンテス／パスカル・ネデレク（2021）『地図で見るアメリカハンドブック』原書房
- ・帝国書院編集部（2021）『世界の諸地域 NOW』帝国書院
- ・全国地理教育研究会（2021）『世界地図 2021年版』成美堂出版
- ・デイヴィッド・セイン（2020）『地図ですっと頭に入るアメリカ50州』昭文社